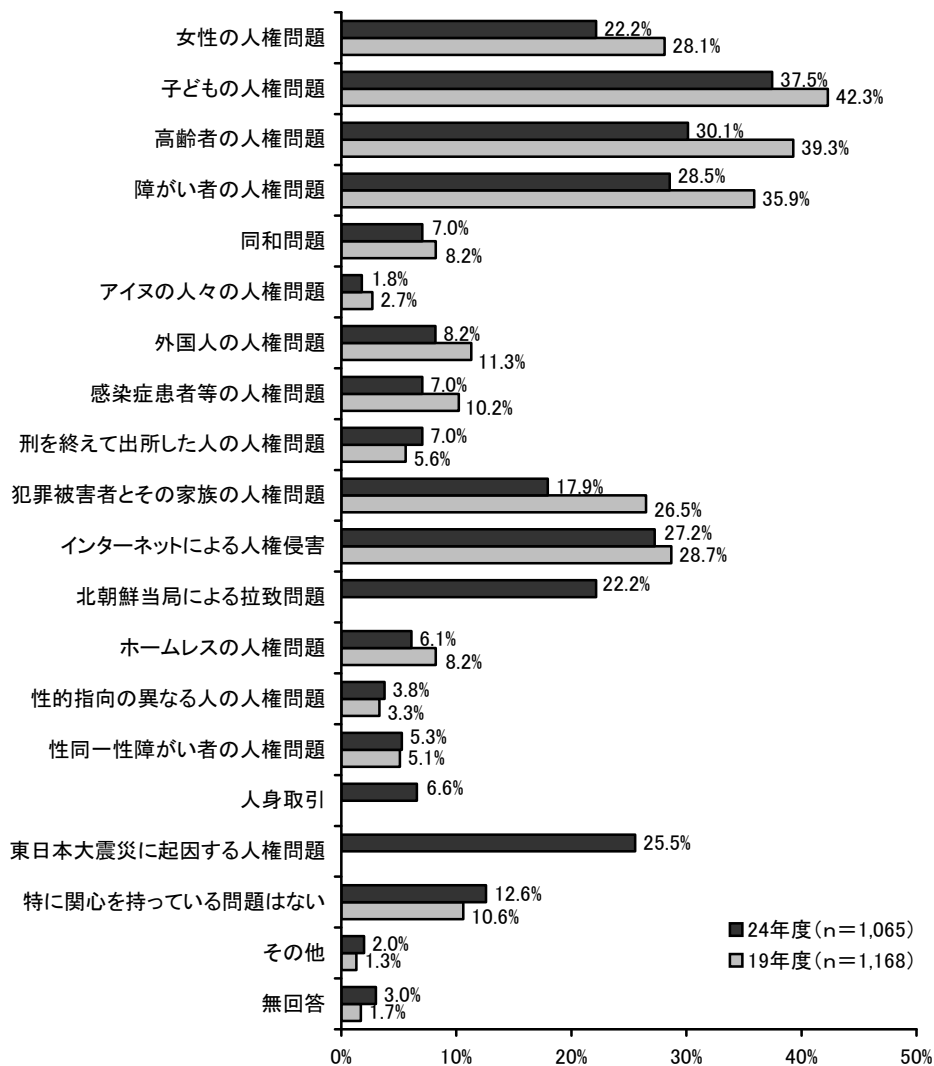


3-1 人権全般について

(1) 現在関心をもっている人権問題

問6 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが現在関心をもっているものはどの問題ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

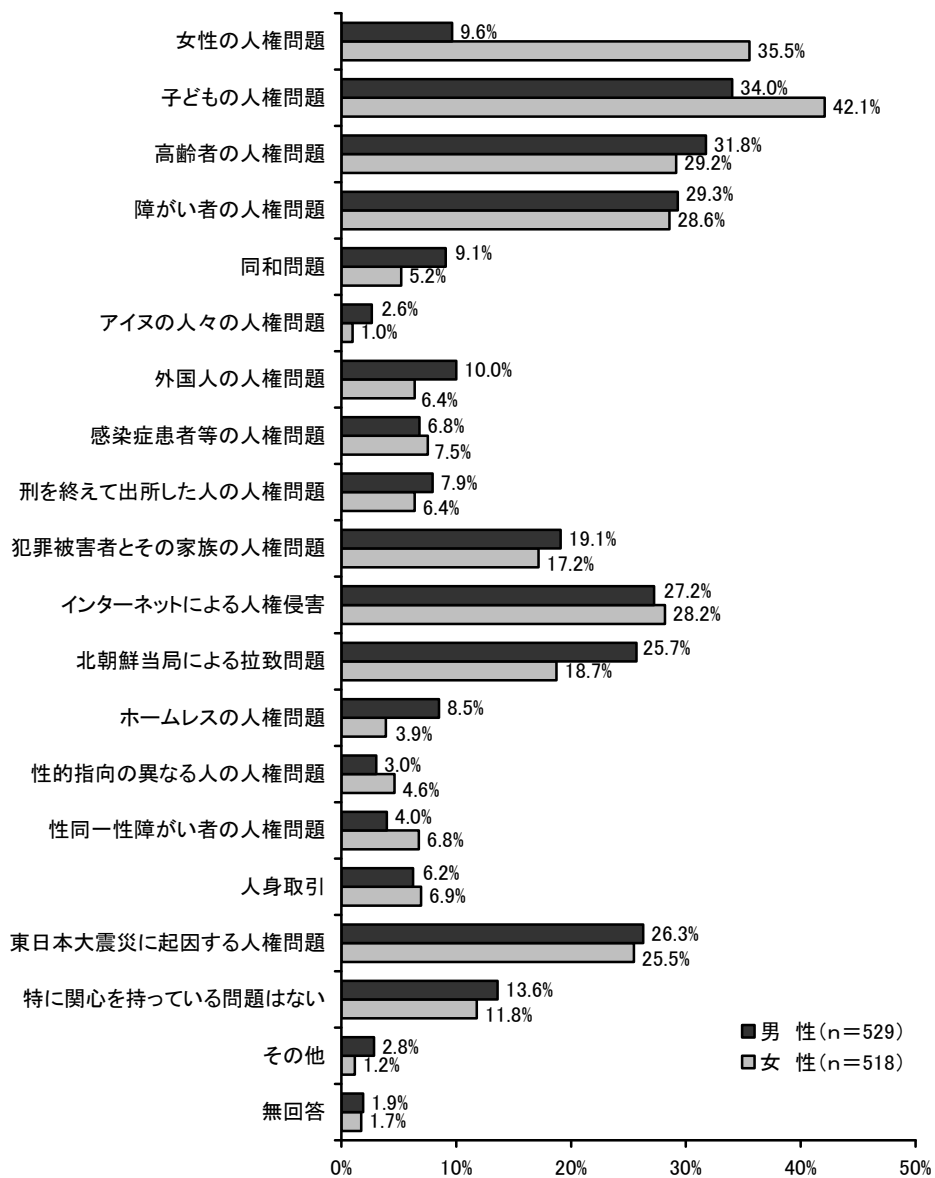


■「子どもの権利問題」が37.5%で最も関心が高く、次いで「高齢者の権利問題」が30.1%、「障がい者の権利問題」が28.5%、「インターネットによる権利侵害」が27.2%、「東日本大震災に起因する権利問題」が25.5%、「女性の権利問題」および「北朝鮮当局による拉致問題」が22.2%の順となっている。

【前回比較】

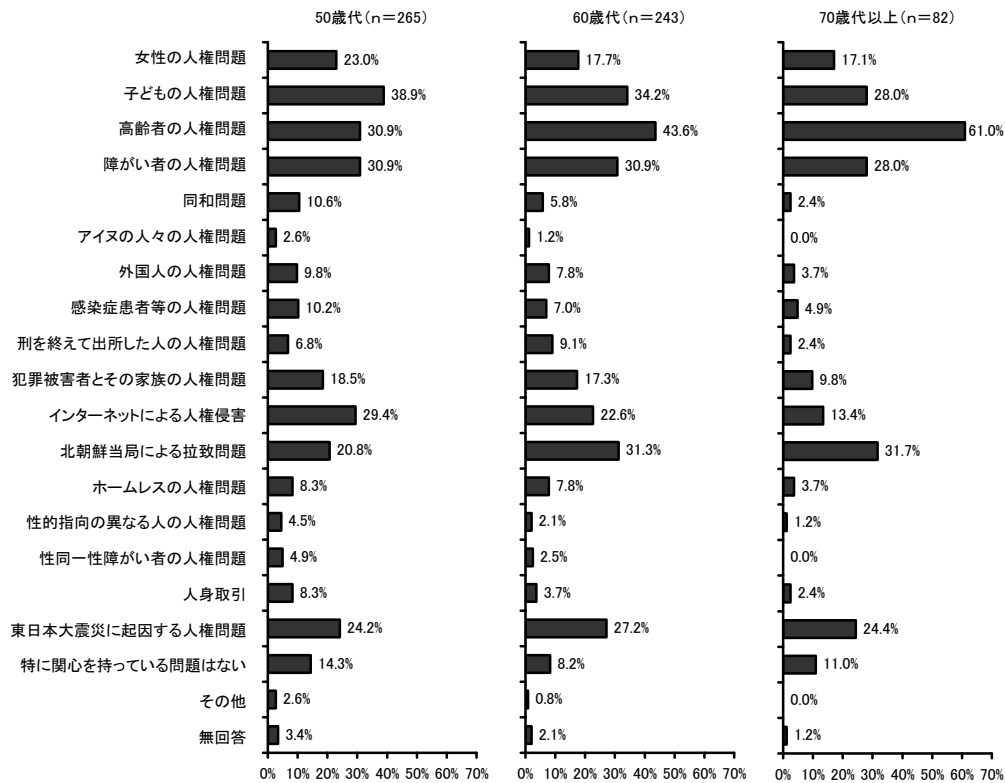
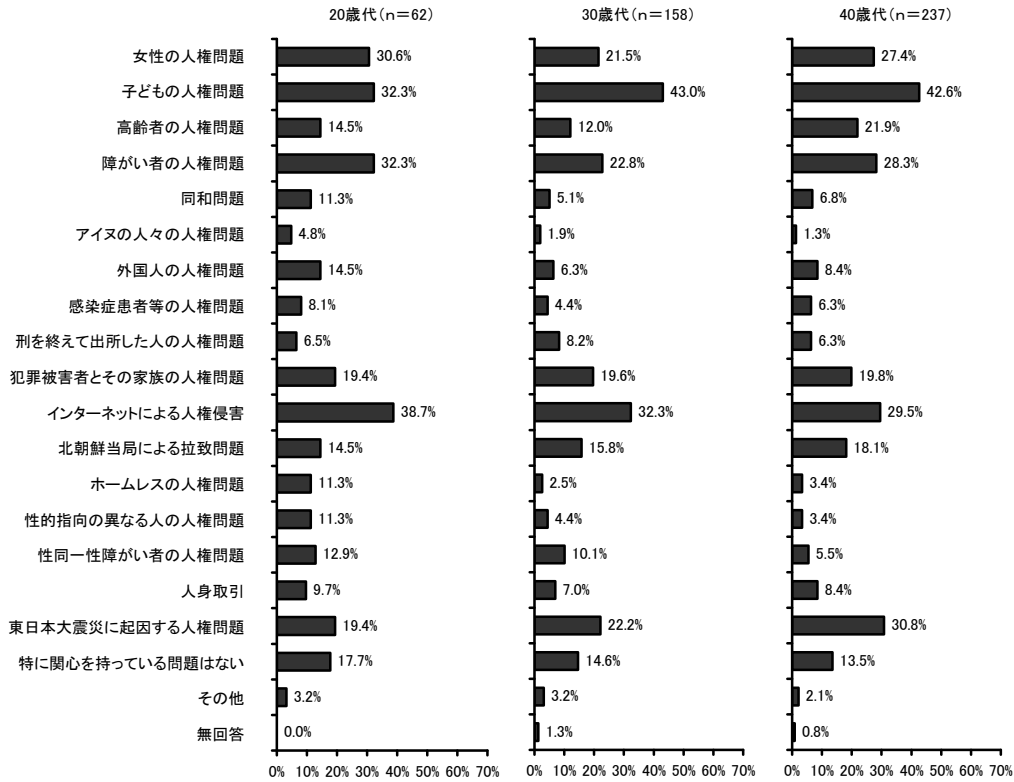
※「北朝鮮当局による拉致問題」「人身取引」「東日本大震災に起因する権利問題」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 「子どもの人権問題」は男女共に最も関心が高く、「高齢者の人権問題」「障がい者の人権問題」「インターネットによる人権侵害」についても、男女共に3割程度が関心をもっている。
- 「女性の人権問題」について、男性は9.6%にとどまっているが、女性は35.5%と非常に関心が高い。

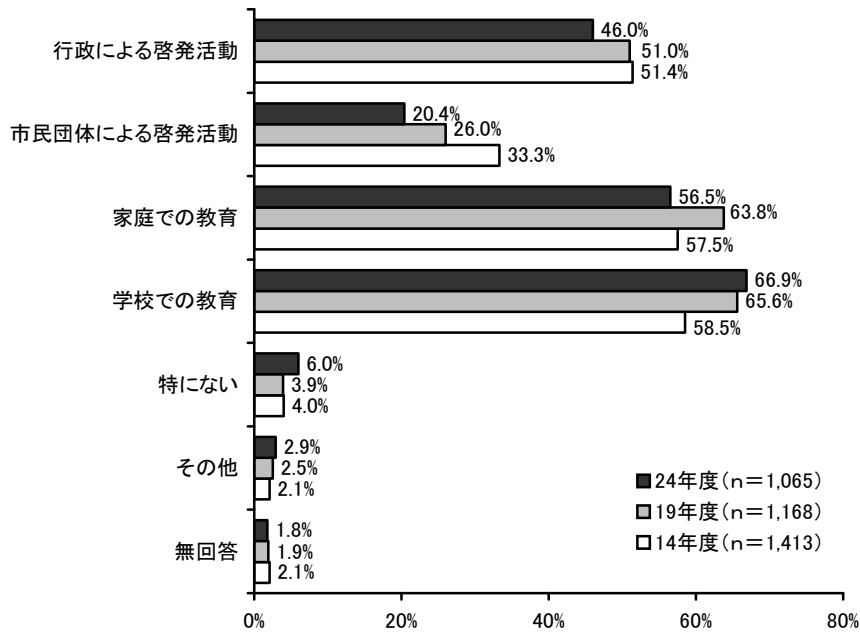
年代別



- 「子どもの人権問題」は30～50歳代で最も関心が高い。
- 「インターネットによる人権侵害」は20歳代で38.7%と最も関心が高いが、年代が上がるにつれて関心が低くなっている。
- 「高齢者の人権問題」は年代が上がるにつれて関心が高くなっており、70歳代以上では6割を超えている。

(2) 人権意識を高める方法

問7 人権意識を高める方法としては、どのようなものが有効と考えられますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

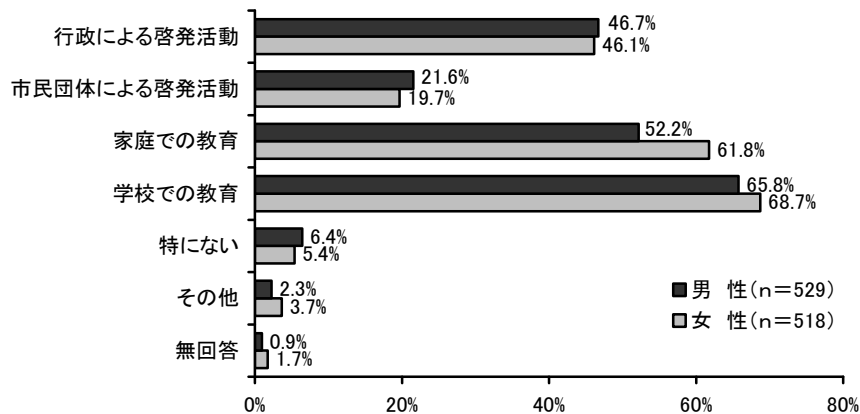


■「学校での教育」が66.9%で最も高く、次いで「家庭での教育」が56.5%、「行政による啓発活動」が46.0%の順となっている。

【前回比較】

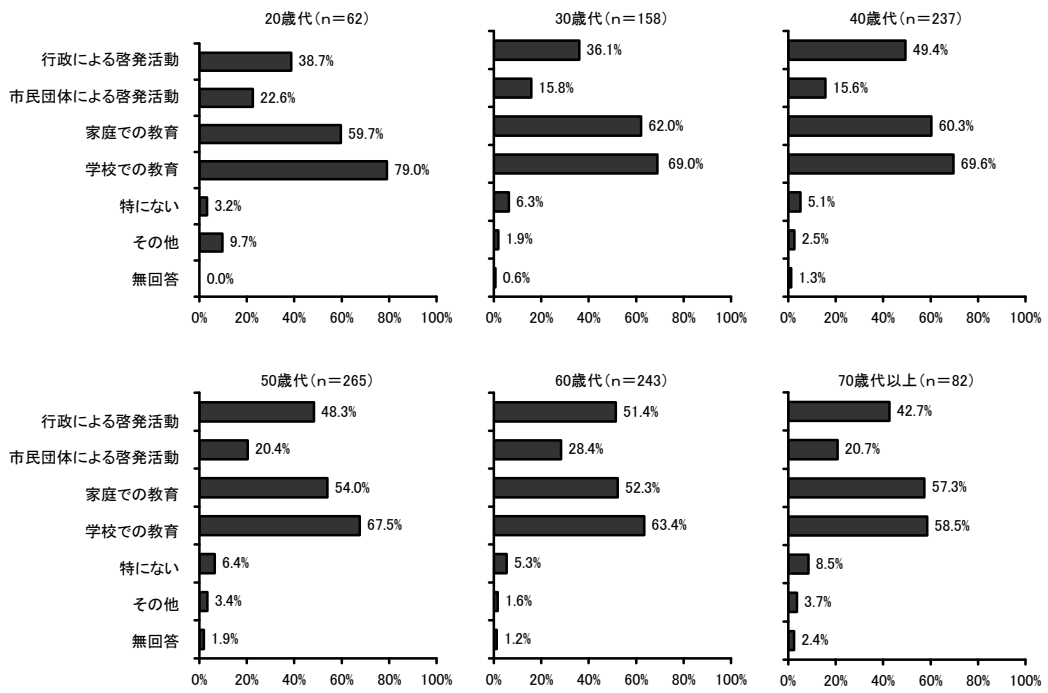
■「学校での教育」は前回に比べ1.3ポイント増加しており、「家庭での教育」は7.3ポイント、「行政による啓発活動」は5.0ポイント減少している。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「家庭での教育」の割合が女性でやや高い。

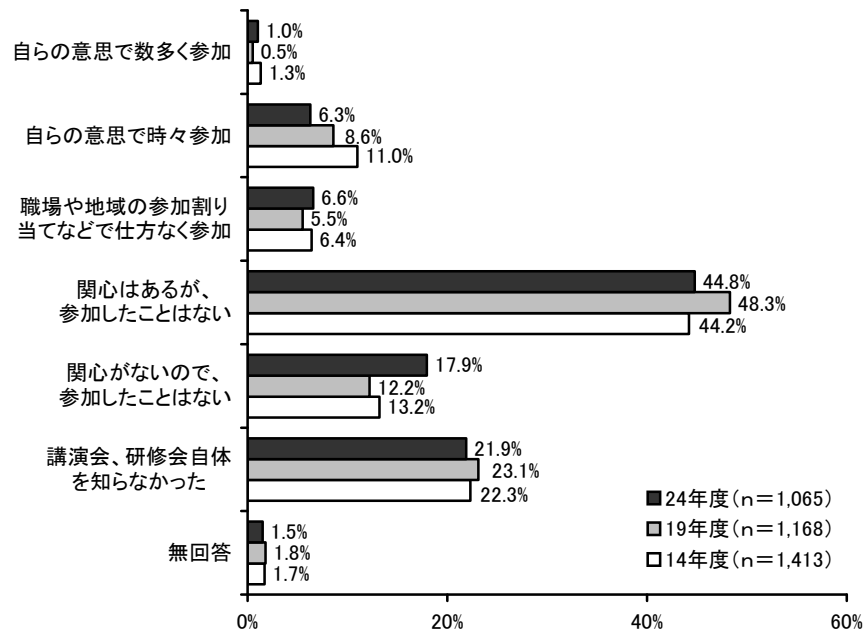
年代別



■いずれの年代においても「学校での教育」が最も高く、次いで「家庭での教育」「行政による啓発活動」の順となっている。

(3) 人権問題に関する講習会や研修会への参加

問8 過去3年間ぐらいの間に、人権問題に関する講演会や研修会への参加について、どのような対応をしてきましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

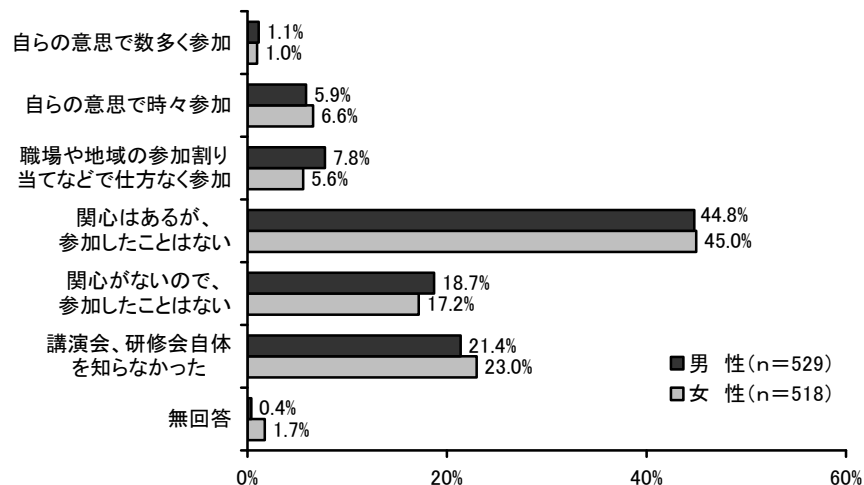


- 「関心はあるが、参加したことはない」が44.8%で最も高く、次いで「講演会、研修会自体を知らなかった」が21.9%、「関心がないので、参加したことはない」が17.9%の順となっている。
- 「自らの意思で数多く参加」は1.0%、「自らの意思で時々参加」は6.3%で、“自らの意思で参加したことがある”人は7.3%にとどまっている。

【前回比較】

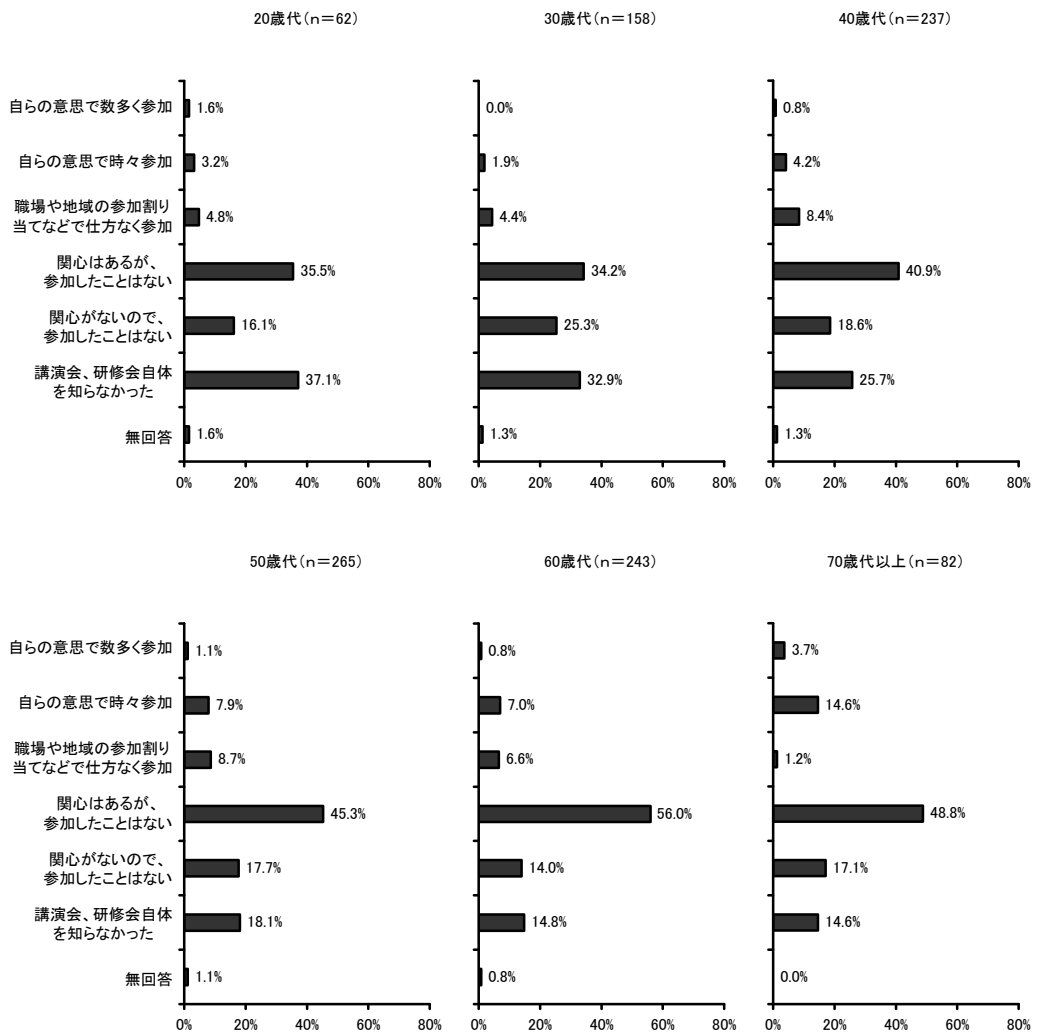
- 「関心がないので、参加したことはない」は前回に比べ5.7ポイント増加している。

男女別



- 男女間で大きな違いはみられない。

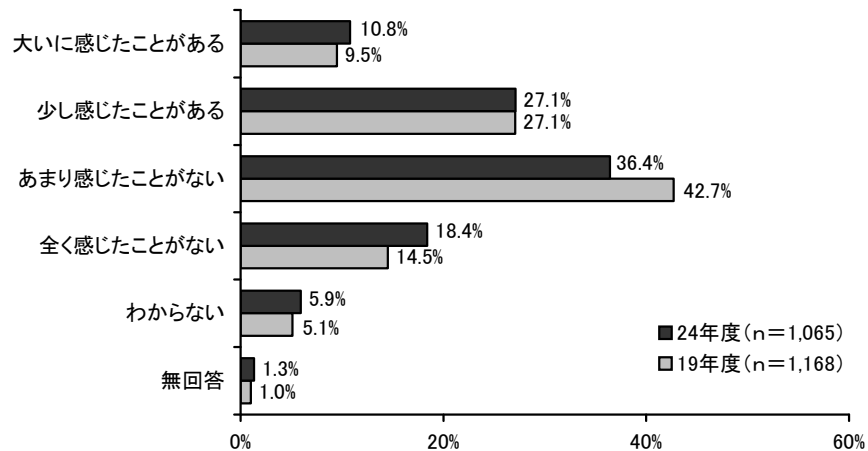
年代別



- 「関心はあるが、参加したことはない」は30～70歳代以上で最も高い。
- 「講演会、研修会自体を知らなかった」は若い年代ほど高く、20歳代で4割弱となっている。

(4) 人権侵害を受けた経験

問9 あなたは、これまでに人権を侵害（暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇など）されたと感じたことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

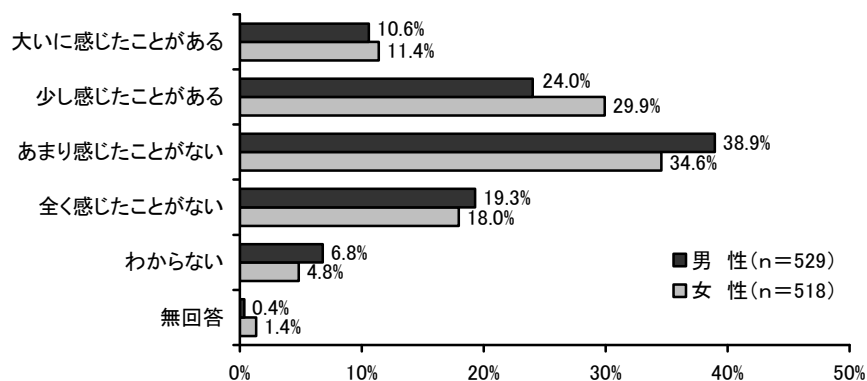


■ 「大いに感じたことがある」は 10.8%、「少し感じたことがある」は 27.1%で、“人権を侵害されたと感じた”人は 37.9%となっている。

【前回比較】

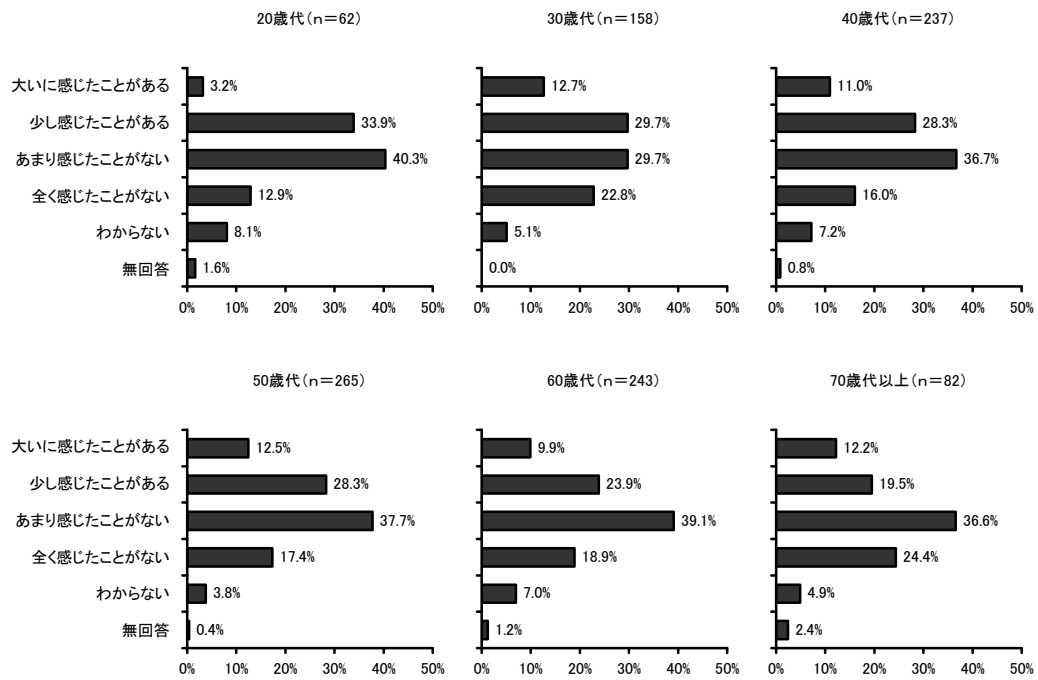
■ “人権を侵害されたと感じた”人は、前回の 36.6%より 1.3ポイント増加している。

男女別



■ “人権を侵害されたと感じた”人は男性が 34.6%、女性が 41.3%で、女性のほうがやや高い。

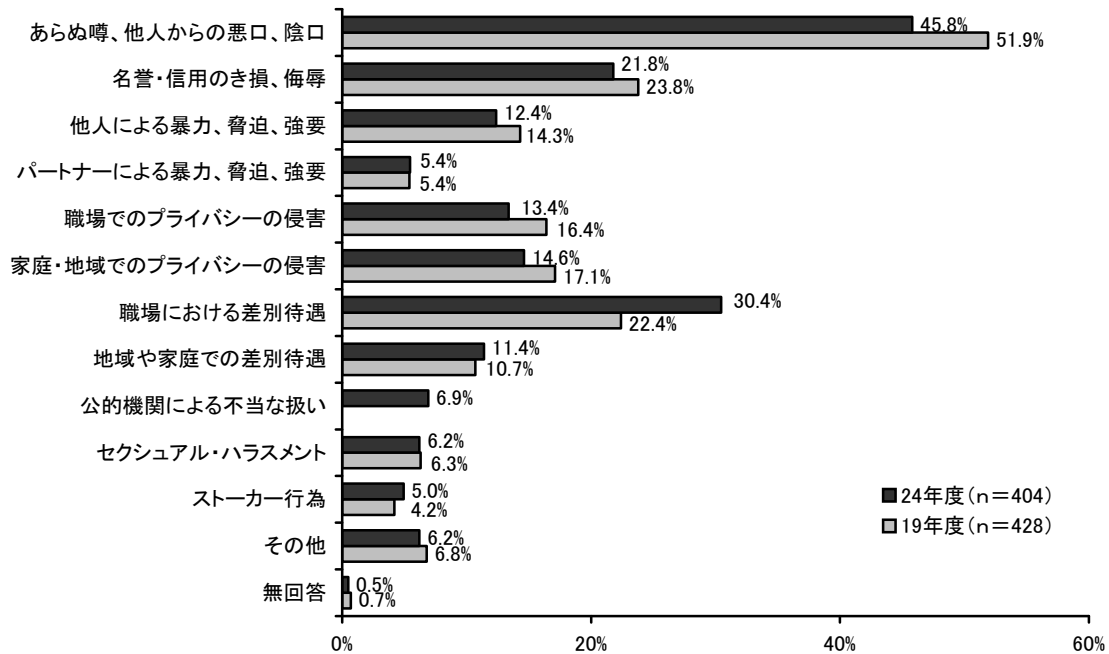
年代別



■ “人権を侵害されたと感じた” 人の割合は、30歳代で42.4%と他の年代に比べて最も高い。

(5) 受けた人権侵害の内容

問10 問9で「大いに感じたことがある」または「少し感じたことがある」を選択された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

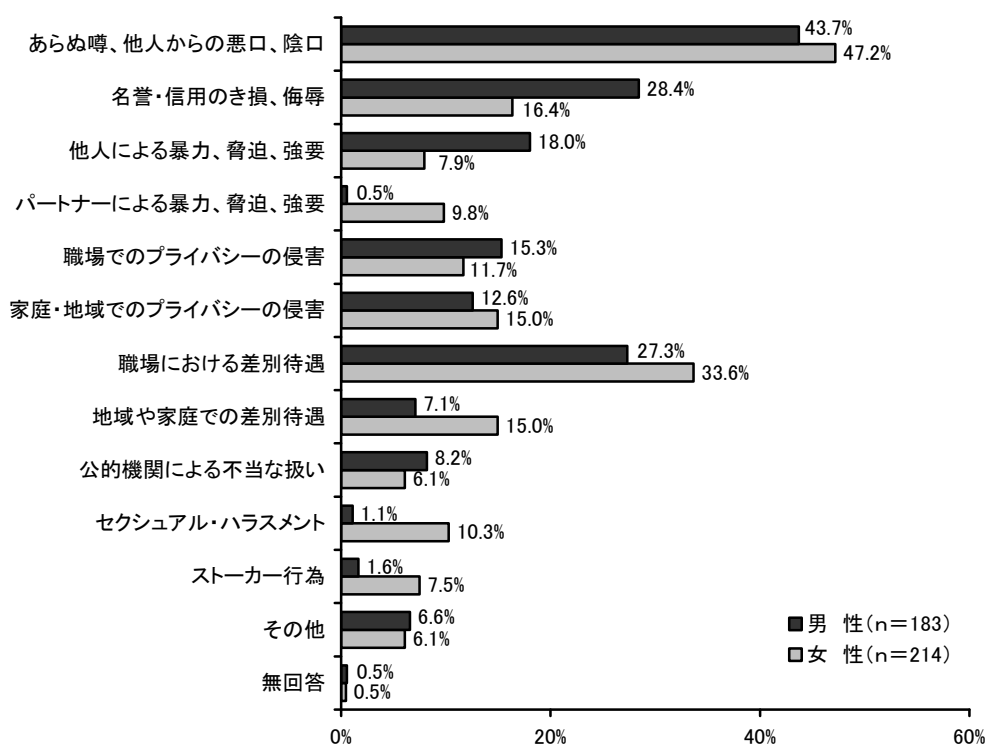


■「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が45.8%で最も高く、次いで「職場における差別待遇」が30.4%、「名誉・信用のき損、侮辱」が21.8%の順となっている。

【前回比較】

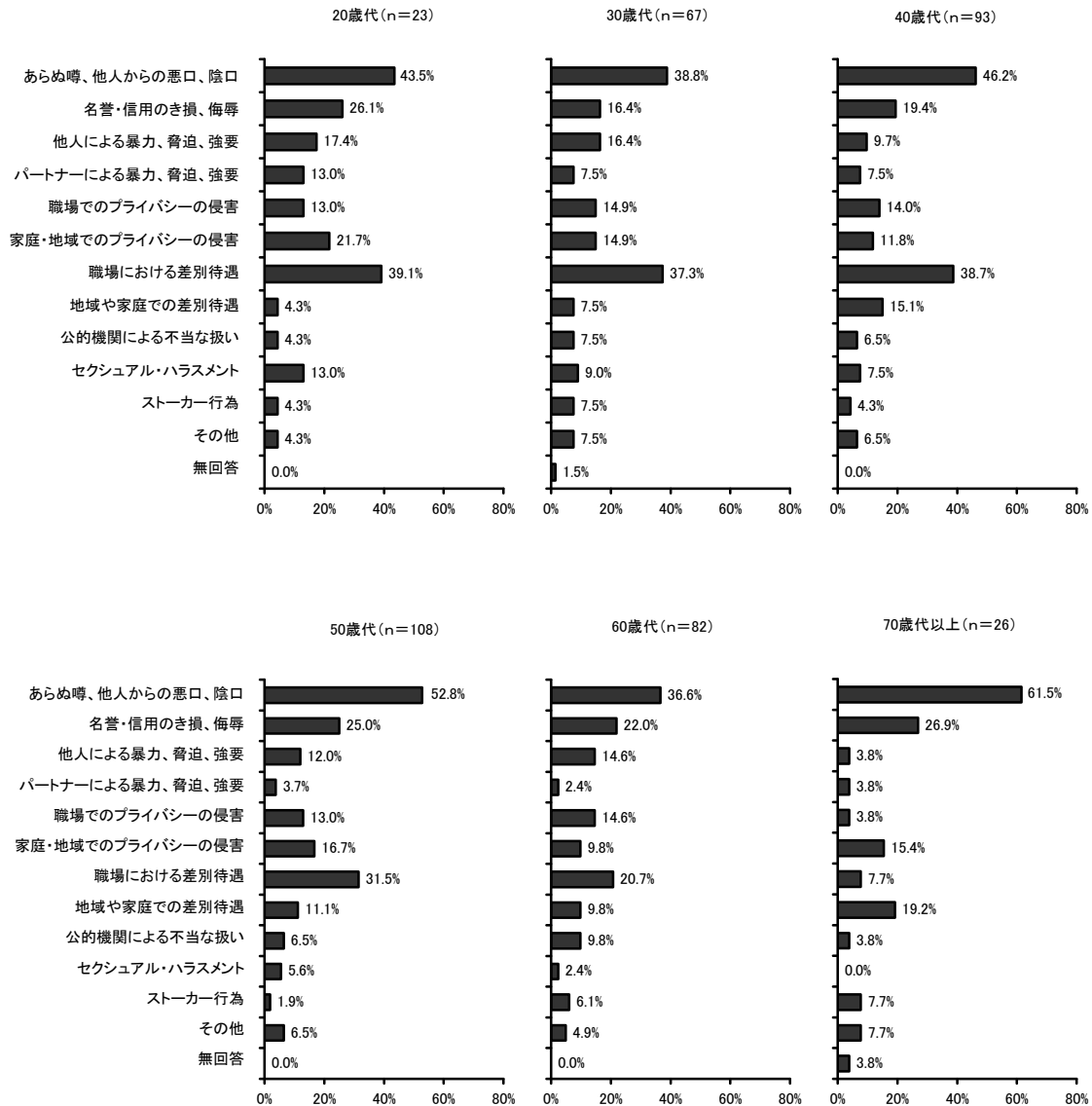
※「公的機関による不当な扱い」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



- 男女共に「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が4割を超えて最も高く、次いで男性は「名誉・信用のき損、侮辱」が28.4%、女性は「職場における差別待遇」が33.6%の順となっている。
- 「パートナーによる暴力、脅迫、強要」「セクシュアル・ハラスメント」「ストーカー行為」の割合は女性が高くなっている。

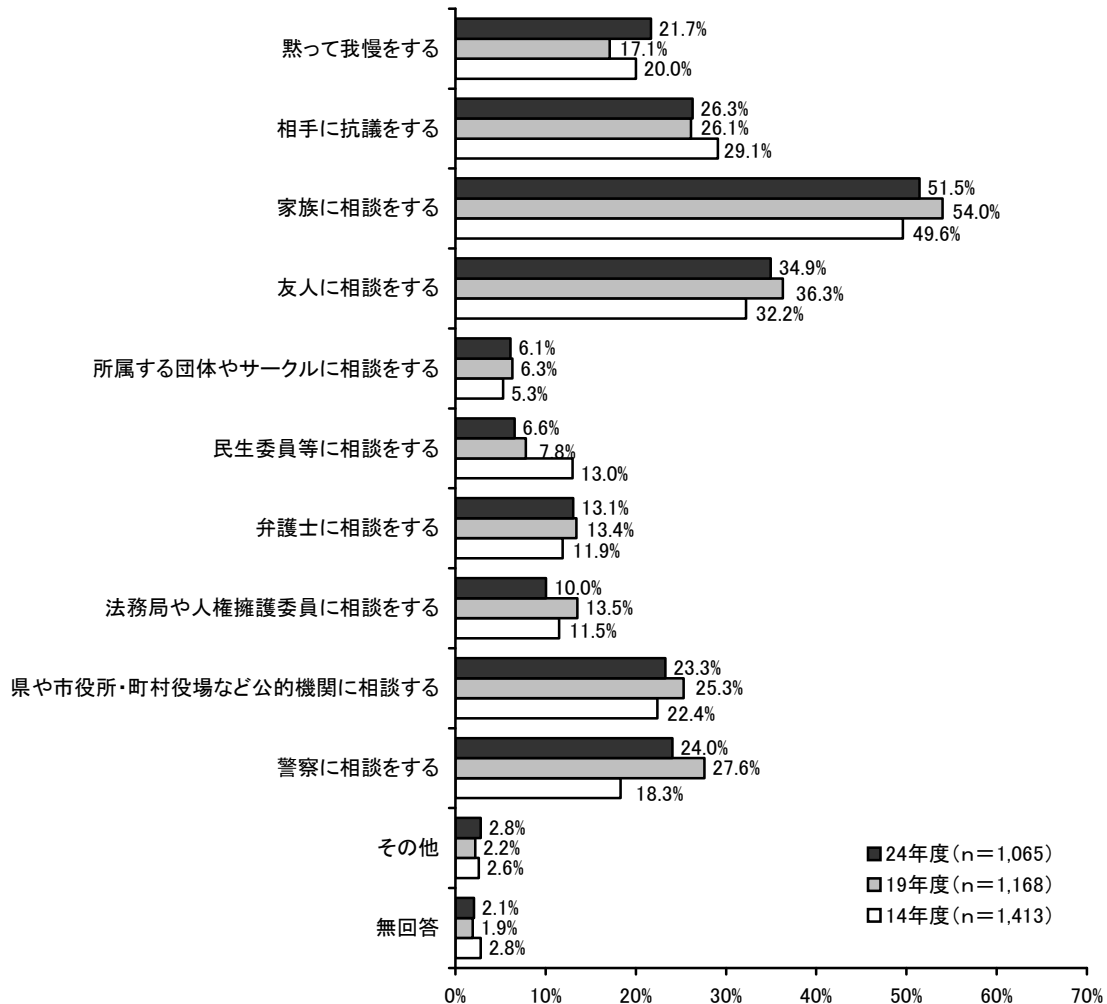
年代別



- 全ての年代で「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の割合が最も高くなっている。
- 「職場における差別待遇」は20～40歳代で4割弱と高くなっている。
- 「家庭・地域でのプライバシーの侵害」は20歳代で21.7%、「地域や家庭での差別待遇」は70歳代以上で19.2%と、他の年代に比べてやや高くなっている。

(6) 人権侵害を受けたときの対応

問11 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

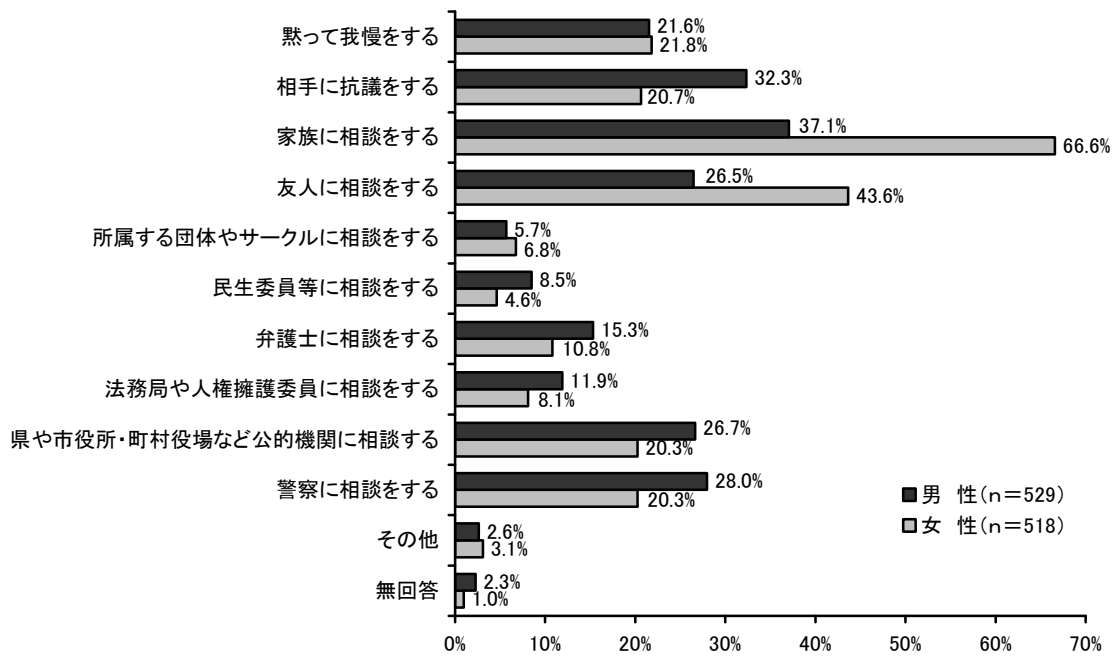


■ 「家族に相談をする」が51.5%で最も高く、次いで「友人に相談をする」が34.9%、「相手に抗議をする」が26.3%の順となっている。

【前回比較】

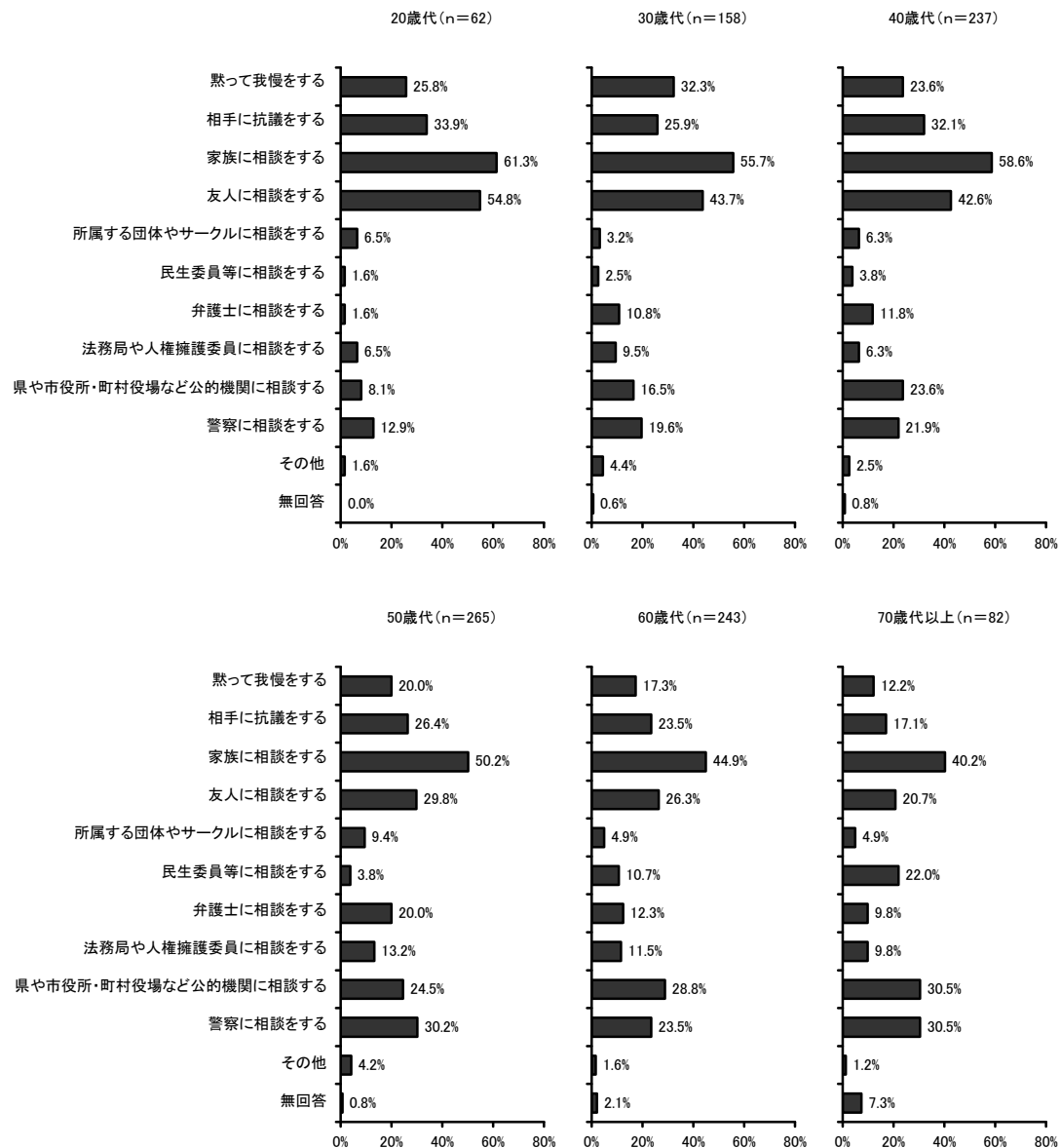
■ 「黙って我慢をする」は前回に比べ4.6ポイント増加している。

男女別



- 男女共に「家族に相談をする」の割合が最も高く、女性は6割を超えている。
- 「友人に相談をする」は女性が4割を越えて高くなっている。
- 「相手に抗議をする」「県や市役所・町村役場など公的機関に相談する」「警察に相談をする」の割合は男性がやや高い。

年代別



- 全ての年代で「家族に相談をする」の割合が最も高くなっている。
- 「友人に相談をする」は若い年代ほど高く、20歳代で5割を超えている。
- 「県や市役所・町村役場など公的機関に相談する」「警察に相談をする」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。